



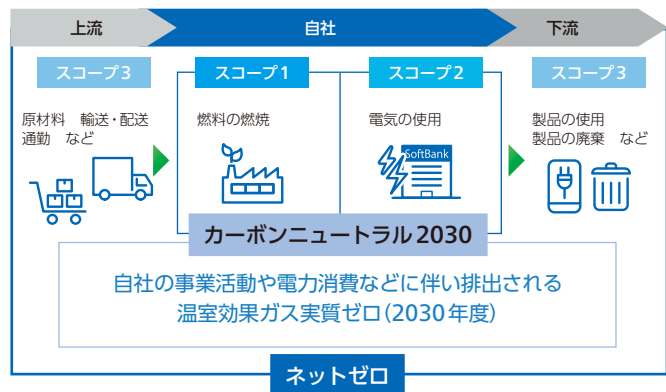
気候変動への取り組み

脱炭素社会の実現のために

サプライチェーン排出量を 2050年までに「ネットゼロ」に

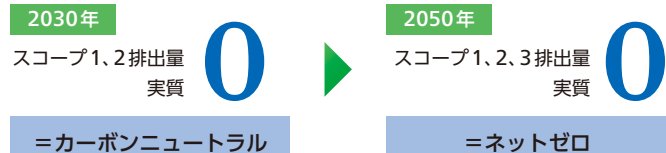


自社の事業活動や電力消費などに伴い排出する温室効果ガス「スコープ1」および「スコープ2」に加えて、取引先などで排出される温室効果ガス「スコープ3」も含めた事業活動に関する全ての温室効果ガスの排出量（サプライチェーン排出量）を、2050年までに実質ゼロにする「ネットゼロ」の実現に取り組みます。



サプライチェーン全体で排出される温室効果ガス実質ゼロ(2050年度)

- スコープ1 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- スコープ2 他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出
- スコープ3 スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)



国際社会の動き

2015年に採択されたパリ協定を境に、それまでの目標としていた低炭素社会から、排出量を実質的にゼロにする脱炭素社会へと国際社会がシフトしました。2021年10月31日から11月13日にかけて開催されたCOP26では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べ1.5℃以内に抑えるための削減強化策「グラスゴー気候合意」が採択され、気温上昇を1.5℃以内にするということが事実上の目標となり、各国の行動の重要性が改めて強調されました。

基地局使用電力の 再生可能エネルギー化を促進



事業活動に伴う温室効果ガスの年間排出量(2019年度実績)

CO₂換算で



ソフトバンクの総電力使用の半分以上を占める
携帯電話基地局での使用電力を再エネ化へ



■ 基地局再生可能エネルギー比率



国際的気候変動イニシアチブの 「SBT」認定を取得

当社の温室効果ガス削減目標が、2021年6月に国際的気候変動イニシアチブのSBTi (Science Based Targets initiative) による科学的根拠に基づいた「SBT (Science Based Targets)」に認定されています。



都市型養蜂【竹芝新八景・蜂の景】

本社ビル東京ポートシティ竹芝では、東急不動産株式会社が主体となって運営する竹芝UBC事務局にて、地域や従業員と連携した環境教育プログラムなどが展開されており、生物多様性の保全が進められています。

2021年6月には竹芝新八景の一つである蜂の景で採蜜体験会が開催され、緑豊かな環境づくりに努めると同時に、環境教育、地域交流などが行われました。



サンゴの保全活動を通じた海洋環境保護

沖縄県恩納村でさまざまな企業や団体と合同で実施している「未来とサンゴプロジェクト」では、サンゴの植え付けをするための募金活動やサンゴの苗を購入し、植え付けを行うボランティアツアー、近隣のビーチクリーン活動の実施や、サンゴの現状や大切さを多くの人に知ってもらうための情報発信などの取り組みを行っています。





ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進

年齢、性別、国籍関係なく、働きやすい職場を目指す

女性の活躍推進を目指した職場環境づくり



女性管理職比率増を目指す



2021年度 2030年度 2035年度

7.6% ▶ 15%超 ▶ 20%へ

■ 女性管理職数・比率

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
女性管理職数(人)	241	272	300	338	378
女性管理職比率(%)	5.6	6.2	6.6	7.1	7.6

【取り組み内容】

- ・有識者をアドバイザーに迎えた女性活躍推進委員会を設置
- ・社外取締役役に女性2人を起用
- ・全社員を対象としたアンコンシャスバイアスのeラーニングを実施
- ・管理職を対象としたダイバーシティマネジメント研修を実施 など

男性の育児参画の促進のために



男性の育児休業の取得を推進するため、株式会社ワーク・ライフバランスが主催する「男性育休100%宣言」に賛同しています。

仕事と育児を両立させる男性社員をサポートするためにさまざまな取り組みを行っています。

男性育児休業取得率増を目指す

2021年度 2026年度

37% ▶ 50%へ



【取り組み内容】

- ・社内イントラネットでのポータルサイト設置
- ・対象社員とマネジメント層向けの研修の実施
- ・育児休業の積立年休充当が可能に
- ・男性育休取得推奨セミナーの開催 など

柔軟でメリハリのある働き方の推進



常に活力あふれる組織を目指し、誰もが働きやすい環境をつくるため、多様なワークスタイルと柔軟でメリハリある働き方を推進しています。



2021年度

テレワーク実施率
90%以上を目指す

95.9%



2021年度

年次有給休暇取得率
毎年
70%以上維持

70.1%

サテライトオフィスの展開

働く場所の拡大による社員の生産性最大化を目的に、全社員へサテライトオフィスを展開しています。

場所や空間、コミュニティに縛られない、よりイノベティブでクリエイティブな働き方へ転換しています。



自社サテライト

6拠点



全国 WeWork

33拠点



他

340拠点

「ダイバーシティWEEK2022」を開催

社員が一人一人異なる多様性について気付きを得たり、SDGsに取り組む意味を感じて、縦にも横にもつながりが広がっていくことを目指し数週間にわたって開催しました。



日経Smart Work経営調査

第5回日経Smart Work経営調査(2022年)で、最高評価である5つ星を獲得しました。



さらに「ソフトバンクイノベーション」、IT人材や外国人の正社員比率の高さ、先端分野人材の育成に積極的である点など、イノベーションを推進する体制が評価され、2022年のイノベーション力部門も受賞しています。

